

「成熟をめざして②」

ヘブル書 6章1～2節

ですから、私たちは

キリストについての初步の教えを後にして  
成熟を目指して進もうではありませんか。

死んだ行いからの回心、神に対する信仰

きよめの洗いについての教えと手を置く儀式  
死者の復活と永遠のさばきなど

基礎的なことを

もう一度、やり直したりしないように  
しましょう。

ですから、私たちは

キリストについての**初歩の教え**を後にして

成熟を目指して進もうではありませんか。

死んだ行いからの回心、神に対する信仰

きよめの洗いについての教えと手を置く儀式  
死者の復活と永遠のさばきなど

**基礎的なことを**

もう一度、やり直したりしないように  
しましょう。

初歩の教え



建物の

土台石

基礎的なこと

もう一度やり直したりしないように

据える



基礎工事を  
する

基礎を据える

## 6つの基礎・土台

1. 死んだ行いからの回心
2. 神に対する信仰
3. きよめの洗い
4. 手を置く儀式
5. 死者の復活
6. 永遠のさばき

V. 死者の復活

VI. 永遠のさばき

主のみもと →

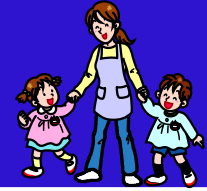


キリスト

3日 40日

復活

昇天



パラダイス

大きな淵

ハデス(よみ)





主のみもと



空中再臨



地上再臨

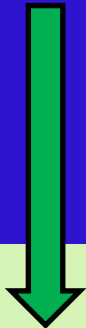


教会時代

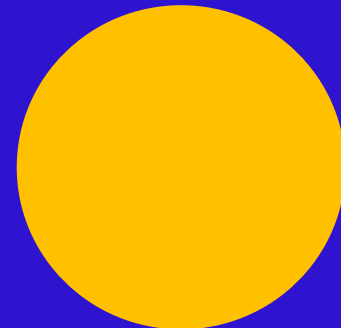
患難時代

1000年王国

白き御座  
の裁き



ハデス(よみ)





また私は、**大きな白い御座**と  
そこに着いておられる方を見た。  
地と天はその御前から逃げ去り  
跡形もなくなった。

また私は、死んだ人々が大きい者も  
小さい者も御座の前に立っているのを見た。  
数々の書物が開かれた。

書物がもう一つ開かれたが

それは、**いのちの書**であった。

死んだ者たちは

これらの書物に書かれていることにしたが  
自分の行いに応じてさばかれた。

海は、その中にいる死者を出した。

死とよみ（ハデス）も

その中にいる死者を出した。

彼らはそれぞれ自分の行いに応じて  
さばかれた。

それから

死とよみ（ハデス）は

火の池に投げ込まれた。

これが、すなわち火の池が、**第二の死**である。

いのちの書に記されていない者はみな

火の池に投げ込まれた。

主のみもと

死とよみ(ハデス)も  
その中にいる死者を  
出した。

白き御座  
の裁き

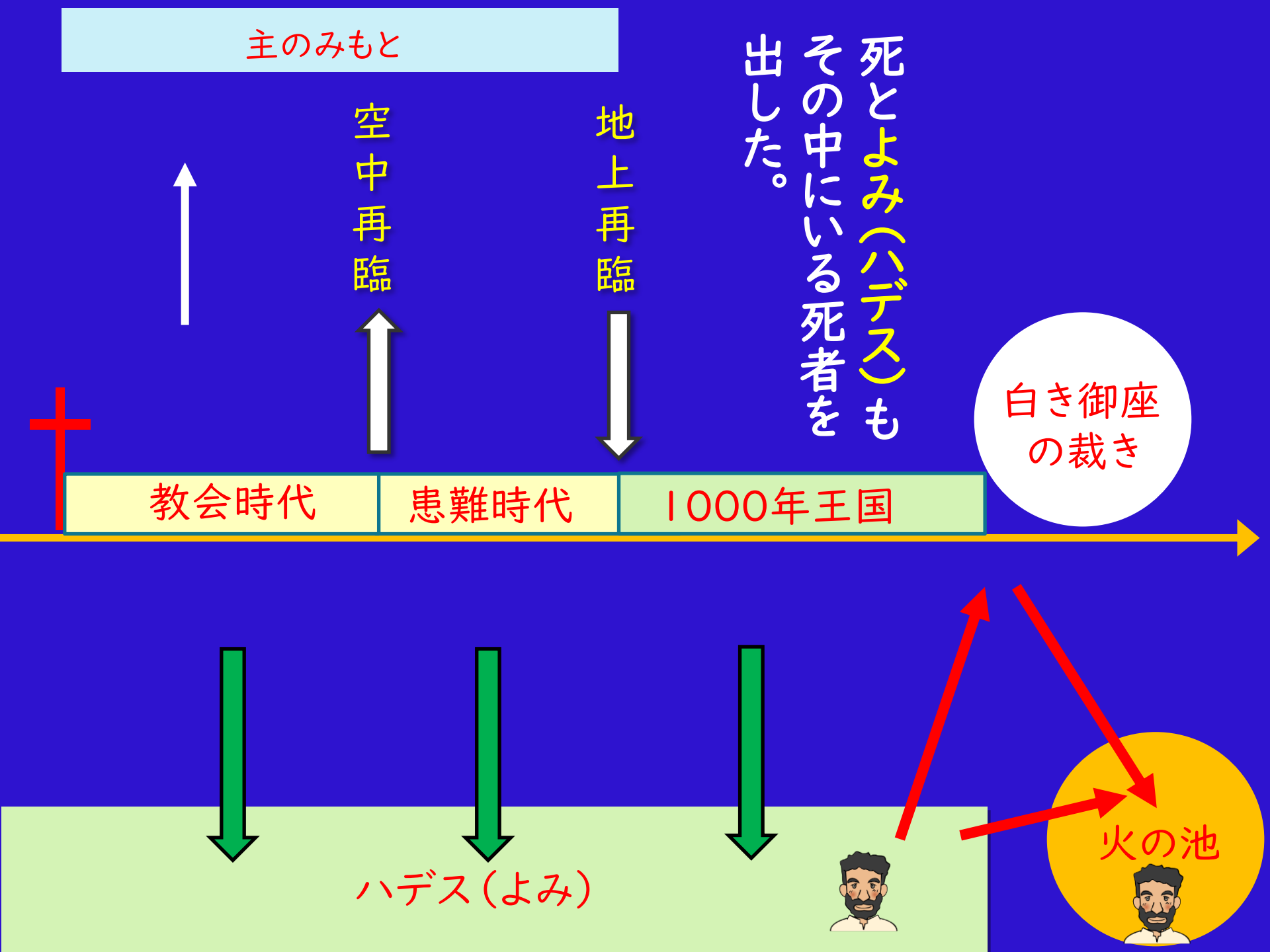
教会時代

患難時代

1000年王国

ハデス(よみ)

火の池



主のみもと

空中再臨

地上再臨

死んだ者たちは  
これらの書物に書かれている  
ことにしたが  
自分の行いに応じて  
さばかれた

白き御座  
の裁き

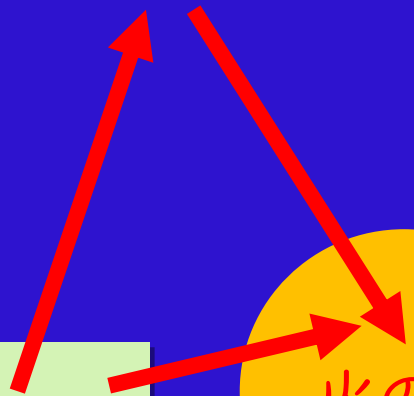
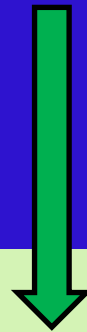
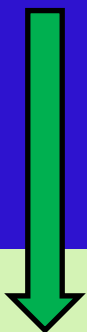
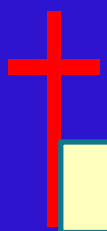
教会時代

患難時代

1000年王国

ハデス(よみ)

火の池



主のみもと

それから  
死とよみ（ハデス）は  
火の池に投げ込まれた

白き御座  
の裁き

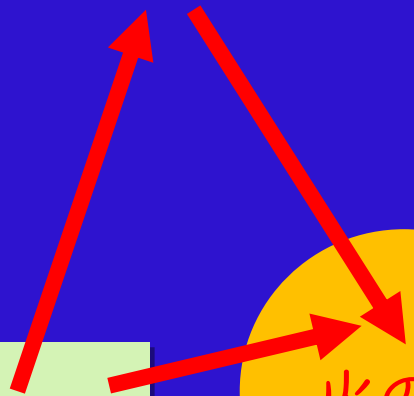
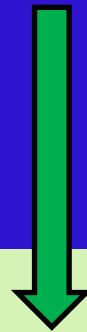
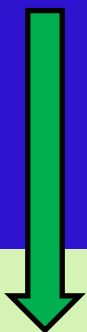
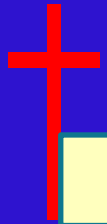
教会時代

患難時代

1000年王国

ハデス（よみ）

火の池



白き御座  
の裁き

火の池

救われていない全ての人々(創世の始めより)

サタン、偽預言者

永遠

また私は、**新しい天と新しい地**を見た。

以前の天と、以前の地は過ぎ去り

もはや海もない。

私はまた、聖なる都、**新しいエルサレム**が

夫のために飾られた花嫁のように

整えられて

神のみもとから、天から降って来るのを見た。

# 新しいエルサレム



→ 永遠

救われている全ての人々 (創世の始めより)



救われていない全ての人々 (創世の始めより)

火の池

サタン、偽預言者

→ 永遠



新しいエルサレム



永遠



救われている全ての人々(創世の始めより)



救われていない全ての人々(創世の始めより)



火の池

サタン、偽預言者



永遠



…**義人も悪人も必ず復活する**という  
この人たち自身も抱いている望みを  
神にあつて抱いております。

：彼らの中に立っていたとき、私はただ一言、  
『**死者の復活**のことで、私はきょう  
あなたがたの前でさばかれていますので。』  
と叫んだにすぎません。」

しかしペリクスは、この道について  
相当詳しい知識を持っていたので

「千人隊長ルシヤが下つて来るとき  
あなたがたの事件を  
解決することにしよう。」

と言って、裁判を延期した。

数日後、ペリクスは  
ユダヤ人である妻ドルシラを連れて来て  
パウロを呼び出し、キリスト・イエスを信じる  
信仰について話を聞いた。

しかし

パウロが正義と節制とやがて来る審判とを  
論じたので

ペリクスは恐れを感じ

「今は帰ってよい。

おりを見て、また呼び出そう。」

と言った。

ですから、私たちは

キリストについての初步の教えを後にして

**成熟を目指して進もう**ではありませんか。

死んだ行いからの回心、神に対する信仰

きよめの洗いについての教えと手を置く儀式

死者の復活と永遠のさばきなど

基礎的なことを

もう一度やり直したりしないように

しましょう。